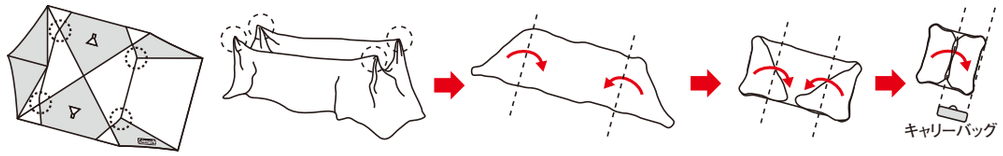
# 撤　収　手　順

**STEP 1** フライシートを固定したペグ、Dリングに掛けたフック、内側にあるベルクロテープをすべて外して、フライシートをインナーテントから完全に取り外し、下図のようにしてたたみます。

**⚠ 注意** テント・タープ生地を濡れたままで収納すると防水効果が著しく損なわれ、色移りやカビ発生の原因となる為、ご使用後はフライシート・インナーテント（タープの場合スキン）の、汚れをよく落とし、十分乾かしてから収納・保管してください。

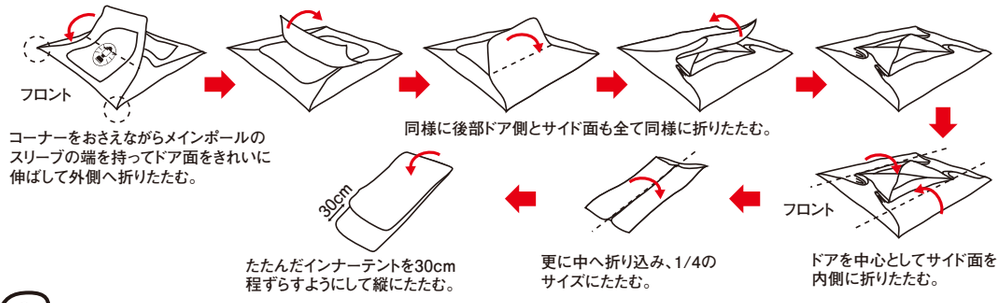



前後の屋根の四隅（○印の箇所）を持ち、中央を折り込みながら半分にする。

両端を中へ折り込んで長方形にする。

長方形を更に中へ折り込み、1/4のサイズにたたむ。

**STEP 2** インナーテントのポールをすべて外し、空気を逃がすためにフロント・バックドアの下部をあらかじめ開けておいてから、四隅をきれいに広げ四角形になった状態で、下図のようにしてたたみます。




コーナーをおさえながらメインポールのスリーブの端を持ってドア面をきれいに伸ばして外側へ折りたたむ。

同様に後部ドア側とサイド面も全て同様に折りたたむ。

たたんだインナーテントを30cm程ずらすようにして縦にたたむ。

更に中へ折り込み、1/4のサイズにたたむ。

ドアを中心としてサイド面を内側に折りたたむ。

**STEP 3** ポールを全ておりたたみポールケースに収納します。フライシートとインナーテントを下図のように巻いて、キャリーバッグに収納して完了です。

**⚠ 注意** ポールを収納する際は、中央付近から折りたたむようにすると、ショックコード（ゴム）全体に均一にテンションがかかり、ショックコードの寿命をのばす事ができます。キャリーバッグに収納する際は、固く巻かないと入らない場合があります。

STEP1でたたんだフライシートをポールケースを芯にして巻いていく。

巻き終わったフライシートを芯にしてインナーテントを巻いていく。


**コールマン ジャパン株式会社**

お問い合わせ先
コールマンカスタマーサービス：**0120-111-957**
受付時間:月曜日～金曜日（祝祭日を除く）10:00～17:30




Coleman
The Outdoor Company™

Model 2000012866
Model 2000017132

# BC CROSS DOME /270

[ BC クロス ドーム /270 ]

## 取扱い・組立て説明書

**この取扱い説明書は大切に保管してください。**

この度はコールマン製品をお買い上げいただき誠に有難うございました。設営の際は水はけが良く、できるだけ平らな場所を選んでください。また、石や木の枝等、本製品を傷つけるおそれのあるものは、あらかじめ取り除き、整地してから設営してください。

# 組立・使用上の注意及び禁止事項

**危険**　**この警告を無視して誤った組み立て方や使い方をすると、人が死亡、または重傷を負う事故が想定される内容を表しています。**

●テント内での火気の使用は、大変危険です。一酸化炭素中毒等、生命をおびやかすおそれがありますので、絶対におやめください。
●台風、暴風雨、落雷等の異常気象の際は危険ですのでテント、タープの使用はお避けください。
●河原や中洲、崖下などの増水、落石の危険のある場所でテント、タープを設営しないでください。

**注意**　**この注意を無視して誤った組み立て方や使い方をすると、事故やケガといった人的傷害、または物的傷害の発生が想定される内容を表しています。**

●キャンプ場へお出かけの前に全ての部品が揃っているか確認してください。
●テント、タープの設営は基本的2人以上で行ってください。無理な設営はポールの破損や本体破れの原因となります。
●テント、タープの設営の際は保護用に手袋などを着用してください。
●ポールを伸ばす際は各節を完全に差し込んでください。指などを挟まないように注意してください。
また周囲に十分に注意してください。近くに人がいないことを確認してください。
●テント本体を立ち上げる際はポールの破損やはね返りに注意してください。
●ペグを打つ際にハンマーで指などを打たないように注意してください。
●小さいお子様にポールの組み立てやペグ打ちの作業をさせないでください。
●風が強い時または、強風が予測される場合はテント、タープの設営を行わないでください。本体が飛ばされて思わぬ事故やポール折れ、本体破損の原因となります。
●テント、タープ設営の際は水はけが良く、できるだけ平らな場所を選んでください。また、風の影響を受けにくい場所を選んでください。
●石や木の枝等、テント、タープを傷つけるおそれのあるものはあらかじめ取り除き、整地してから設営してください。
●テント、タープ本体は必ずペグとロープで確実に地面に固定してください。風で飛ばされたり雨水が溜まって思わぬ事故につながることがあります。
●テント、タープを設営する場所によっては付属のペグが使用できない場合があります。あらかじめ行かれる場所の地面の状態を確認して適切なペグをご用意ください。
●テント、タープから長時間離れる場合は必ず撤収してください。急な天候の変化、突風などにより、テント、タープが飛ばされて思わぬ事故の原因となります。
●結露について
テントのフライシート、タープの生地には防水加工が施されていますので、外気との温度差が大きいと生地の内側の壁面に水滴がつくことがあります。これは水漏れではありません。テントのフライシート、タープ内の空気を循環させ換気を行うことで結露の発生を低減することができます。

# 収納・管理の注意

**注意**　**この注意を無視して誤った組み立て方や使い方をすると、事故やケガといった人的傷害、または物的傷害の発生が想定される内容を表しています。**

●使用後は汚れを落とし、十分に乾かしてから収納、保管してください。濡れたままの状態で収納すると防水効果が著しく損なわれ、色移り、カビ発生の原因となります。
●撤収時、雨などで本体を乾かせない場合は、持ち帰ったあとできるだけ早く乾燥させてください。そのまま放置すると防水効果が著しく損なわれ、色移り、カビ発生の原因となります。
●汚れを落とす場合は、固く絞った布で拭き取りよく乾燥してから保管してください。
●シンナー、ベンジンなどの有機溶剤の使用は、色落ち、変色およびプリントや樹脂加工の剥がれの原因になります。
●ポール本体に付いた水分や砂、土はきれいに拭き取ってから収納してください。また、濡れたまま収納しますと腐食の原因となります。
●本体、収納ケースは洗濯しないでください。
●幼児、子供の手の届かない場所に保管してください。

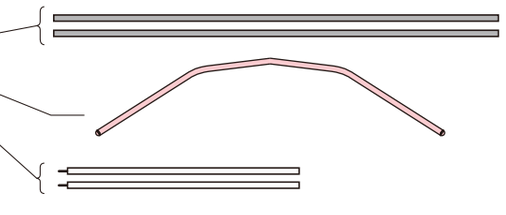


# 各部の名称・セット内容

## セット内容

お出掛けになる前に一度、パーツ等の不足がないかご確認ください。

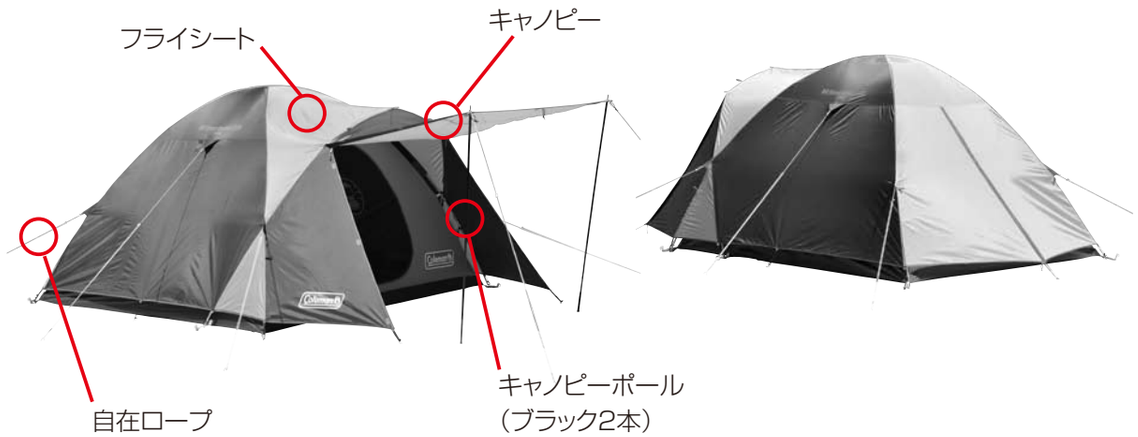
| | |
|---|---|
| ●本体(インナーテント) | 1張 |
| ●フライシート | 1張 |
| ●メインポール(グレー) | 2本 |
| ●フロントポール(イエロー) | 1本 |
| ●キャノピー用ポール(スチール/ブラック) | 2本 |
| ●自在ロープ(グリーン) | 6本 |
| ●自在ロープ(ベージュ) | 4本 |
| ●スチールピンペグ | 15本 |
| ●プラスチックペグ | 6本 |
| ●ハンマー | 1ヶ |



## インナーテント設置時

## フライシート装着時

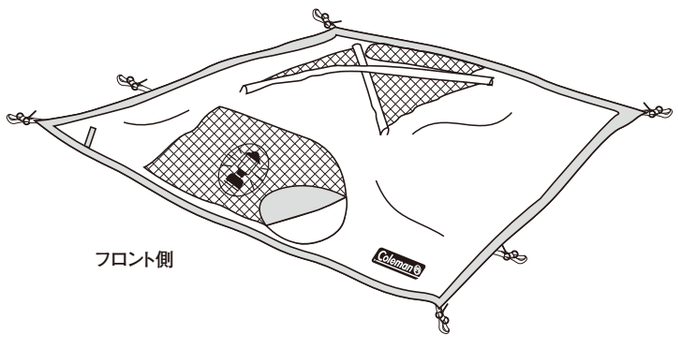
［フロント側］　［バック側］



# 設　営　手　順

## I　インナーテントを広げる

**STEP 1**　インナーテントを広げます。コールマンロゴおよびメッシュドアにランタンマークのある方がフロント側になります。あらかじめ前後のドアのファスナーは空気が入りやすいように、一部開けておきます。

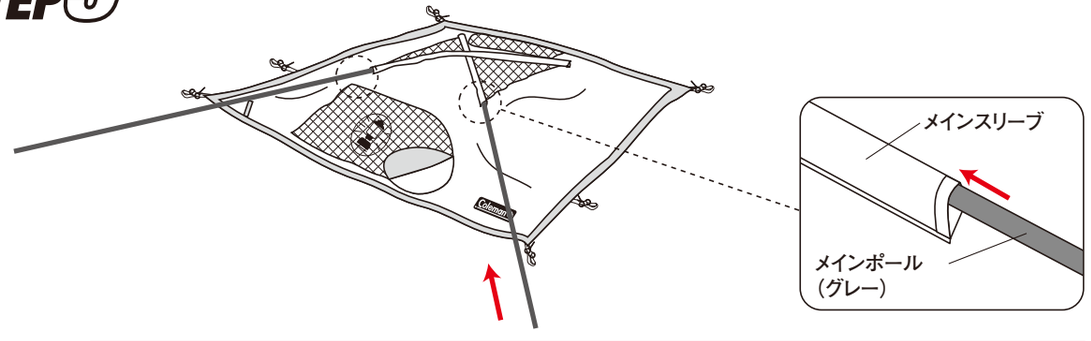



## II　メインポールをセットし立ち上げる

**STEP 2**　メインポール（グレー）2本を伸ばします。

> ⚠ **注意**　ポールを伸ばす際には、各節を完全に差し込んでください。
> 不十分な場合、ポールが折れる可能性があります。

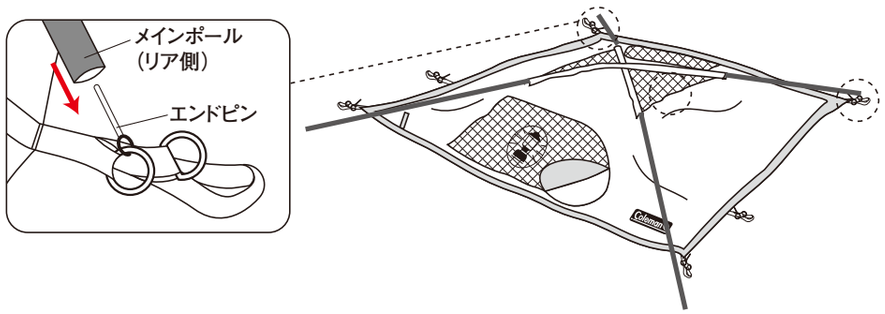
**STEP 3**　メインポール（グレー）2本をメインスリーブに通します。




> ⚠ **注意**　ポールをスリーブに通す際は引っ張らず必ず押し入れてください。
> ショックコードが切れる可能性があります。

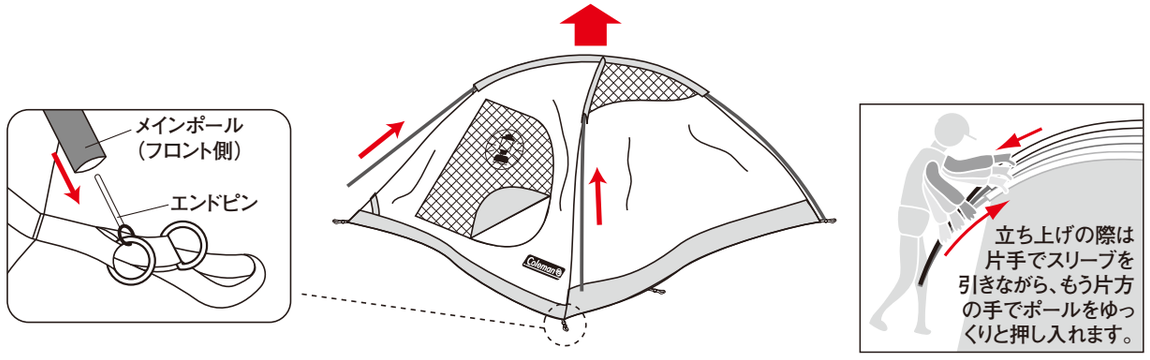


**STEP 4**　メインポール（グレー）2本のリア側の端を、インナーテントのコーナーにあるループについているエンドピンにそれぞれ差し込みます。



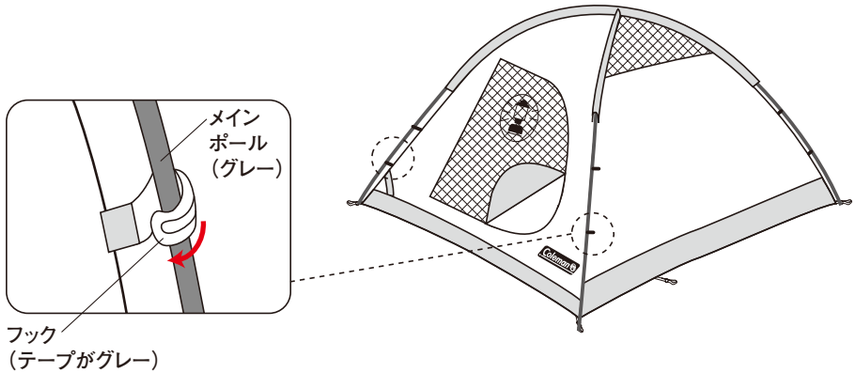

> ⚠ **注意**　ポールをエンドピンに差し込む際、指などをはさまないように
> 注意してください。

**STEP 5**　フロント側のスリーブの端を持ち、メインポール（グレー）2本をそれぞれ押入れながら、インナーテントを立ち上げます。立ち上がったら、メインポール2本のフロント側の端を、インナーテントのコーナーにあるループについているエンドピンにそれぞれ差し込みます。




> ⚠ **注意**　メインポールは2人で2本同時に、徐々に立ち上げてください。
> 立ち上げの際は片手でスリーブを引きながら、もう片方の手でポールをゆっくりと押し入れます。スリーブを持たずに押し込むと、ポールが折れたり生地が破れたりします。

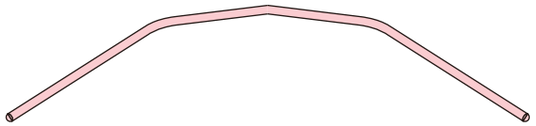
## STEP 6 インナーテントについているフックをメインポールにかけ固定します。




**注意** フックをポールにかける際、指などをはさまないよう注意してください。

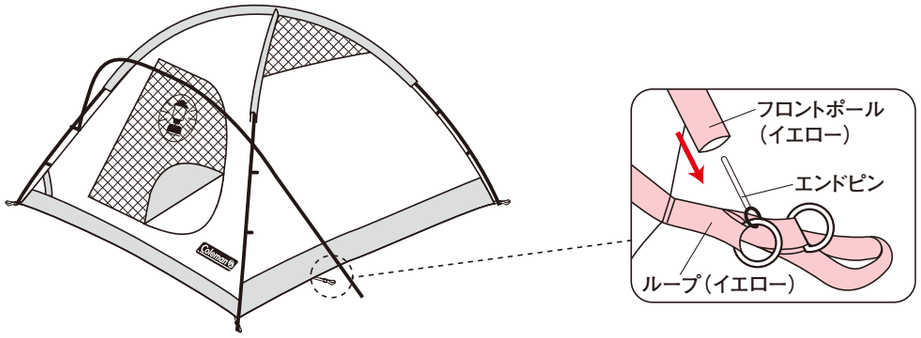
## Ⅲ フロントポールをセットする

## STEP 7 フロントポール（イエロー）をのばします。



**注意** ポールを伸ばす際には、各節を完全に差し込んでください。
不十分な場合、ポールが折れる可能性があります。

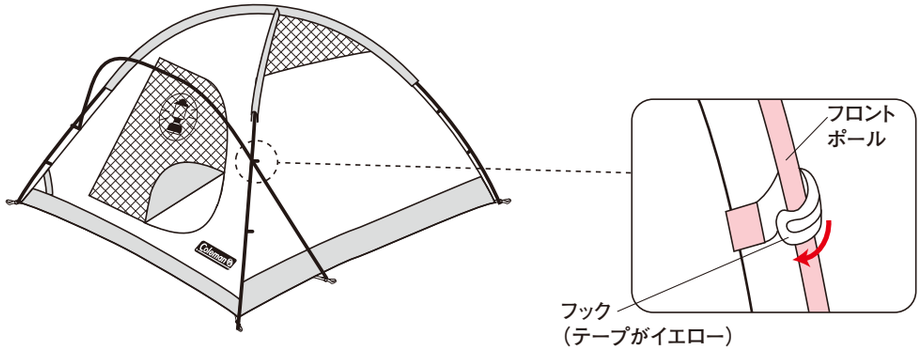
## STEP 8 フロントポールの端を、インナーテント横にあるループ（イエロー）についているエンドピンに差し込み立ち上げます。




**注意** ポールをエンドピンに差し込む際、指などをはさまないように注意してください。



## STEP 9 インナーテントについているフックをフロントポールにかけ固定します。
フライシートをかぶせた時に前室の部分として必要なポールです。




**注意** フックをポールにかける際、指などをはさまないよう注意してください。

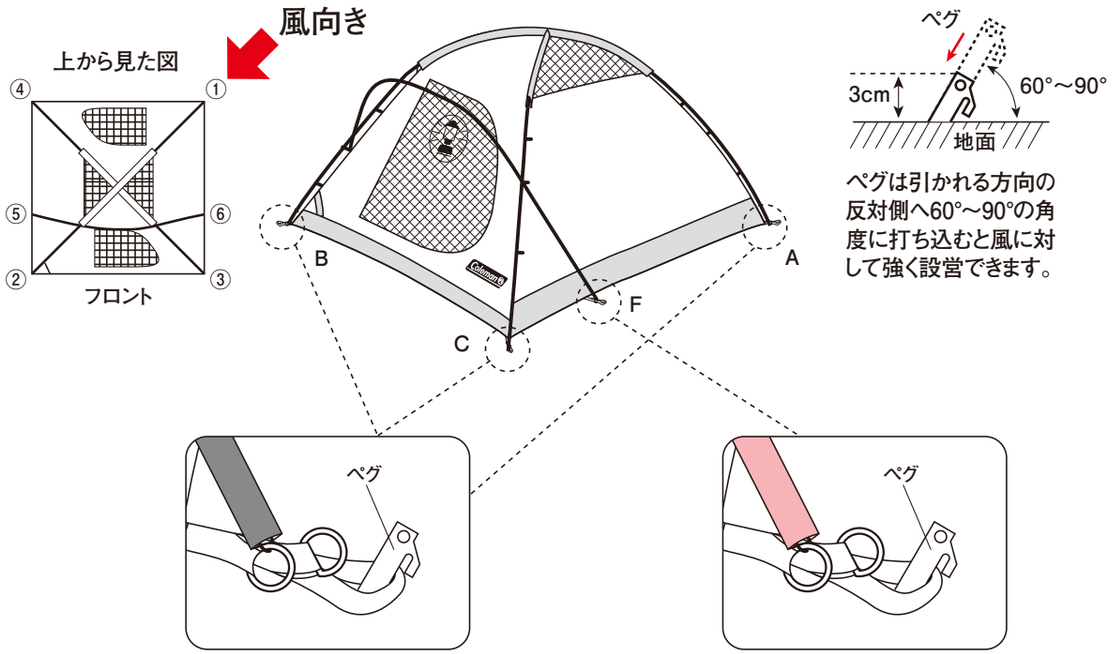
## Ⅳ 設営位置を決め固定する

## STEP 10 前後のファスナーをすべて閉めます。

**注意** ファスナーを開けたまま設営すると、ペグで固定した時にドアが閉まらなくなることがあります。

## STEP 11

設営位置を決め、図のように6ヶ所のループを風上より順に①から⑥の順で対角線にペグを打ち込み、テントを固定します。（プラスチックペグを使用）

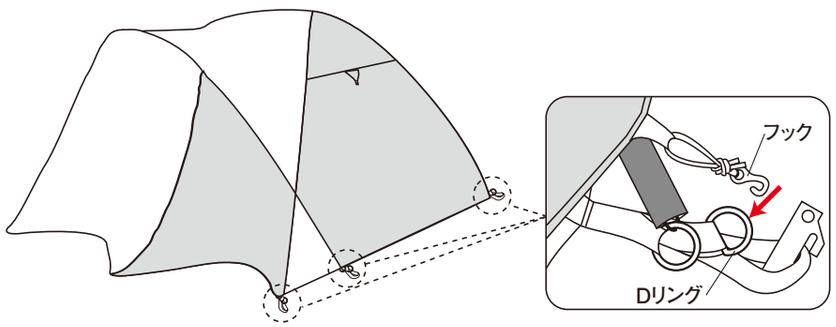



**注意** フロアにシワがなくなるように、ループを少し引っ張りながらペグで固定してください。

## V フライシートをかぶせる

## STEP 12

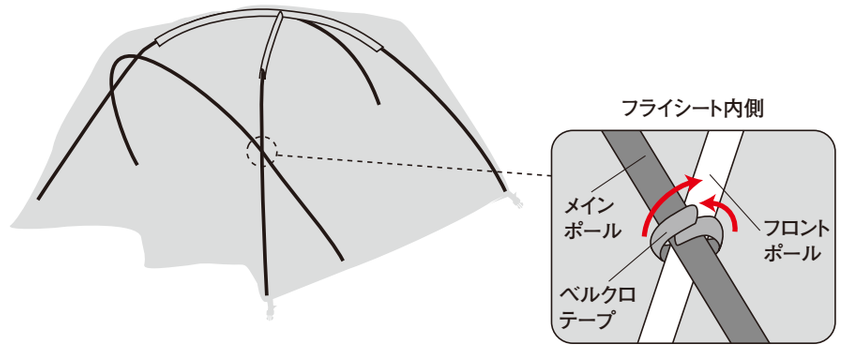
フライシートをかぶせます。この時に、全てのポールはフライシートの内側になります。
フライシートの端についているフックを、インナーテントコーナーのループについているDリングにかけます。






## STEP 13

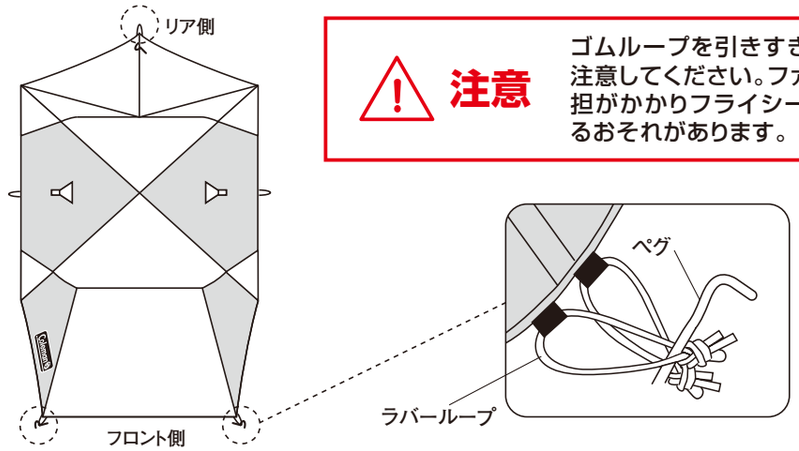
フライシート内側にあるベルクロテープを、それぞれのポールにとめて固定します。メインポールとフロントポールの交差部は、両方のポールを巻き込むようにベルクロテープで固定します。




## VI ペグで固定する

## STEP 14

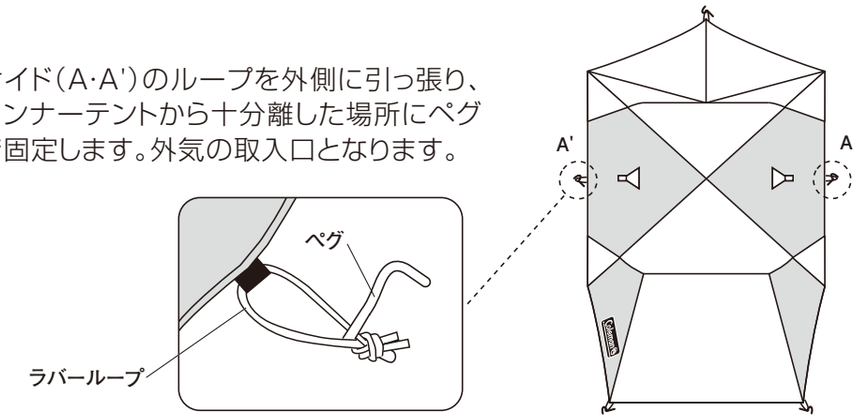
フロント、リア側のループを張り出し、ペグで固定します。




**注意** ゴムループを引きすぎないように注意してください。ファスナーに負担がかかりフライシートが破損するおそれがあります。

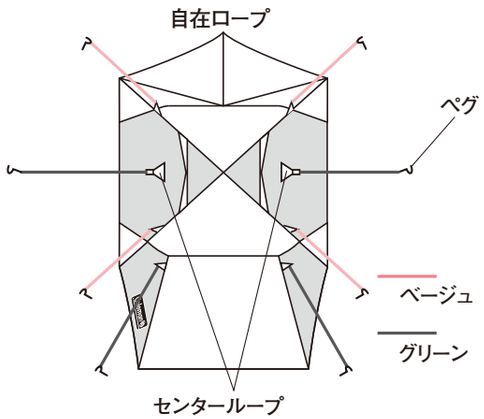
## STEP 15

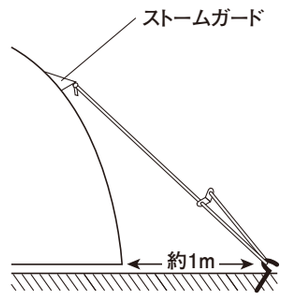
サイド（A·A'）のループを外側に引っ張り、インナーテントから十分離した場所にペグで固定します。外気の取入口となります。



## Ⅶ ロープを張り固定する

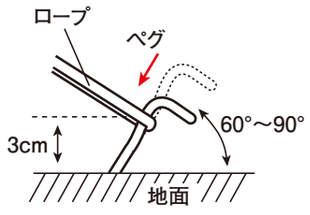
**STEP 16** ストームガードシステム（ストームガードに付属のロープを結び、ペグで固定する方法）により、テントの安定性を高め、フライシートとインナーテントの接触を防ぎます。両側面にあるセンターループ及びストームガードに付属のロープを結び、図のようにペグで固定します。



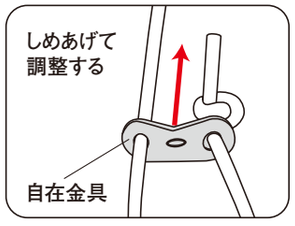

自在ロープの端をストームガードのループに結びます。ペグを打ち、ロープをかけて自在をしめロープの長さを調整します。

左図の要領にてロープをセットし、本体から約1m程離れた位置にペグ打ちして固定します。自在をしめあげて、ポールが前後左右に大きく動かなくなるよう調節してください。




ペグは左図のように地面から引かれる方向の反対側へ60°～90°の角度で打ち込みますと、風に対して強く設営できます。

自在の使用方法



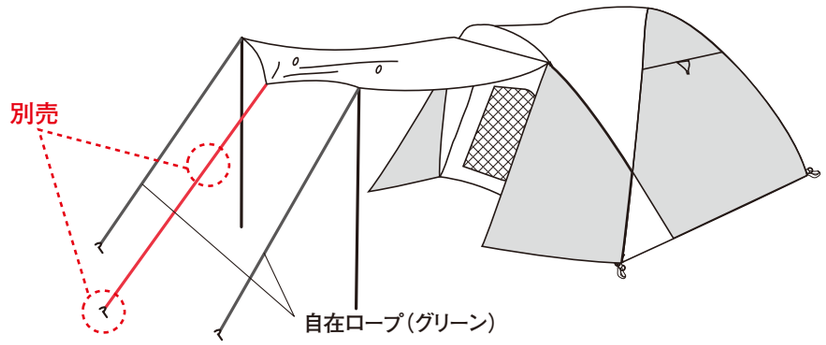

**⚠ 注意** 大きなサイズのドームは構造上、風の抵抗を受けやすくなっています。「ストームガード」を必ずご活用ください。

**⚠ 注意** フライシートはテントインナー室内と外気との温度差を緩和し、テント内側の結露を防止する役割を果たしています。センターループ・ストームガードを張り、フライシートとインナーテントの間に空間をつくるように、必ずご活用ください。



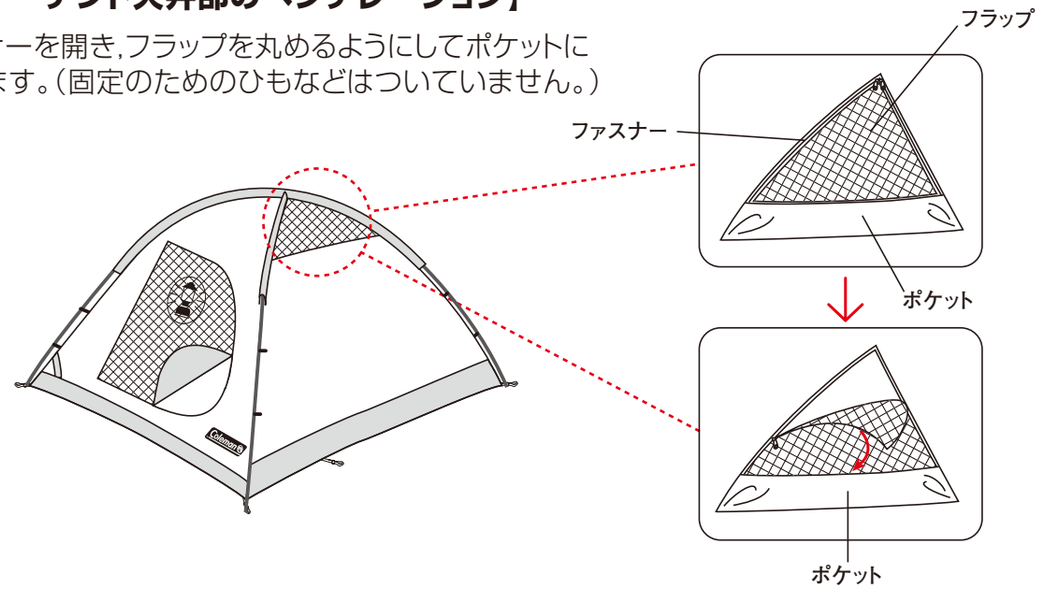
## Ⅷ キャノピーの活用など

**STEP 17** キャノピーとして活用する場合は、付属のキャノピー用ポールを使用します。




**⚠ 注意** 雨天時にキャノピーを活用する際は、水がたまりやすくなりますので、傾斜を作るか、中央部にロープ（別売）を結びペグ止めして雨水を流してください。

**⚠ 注意** 風の強い時は、必ずキャノピーを閉じてください。ポールが折れるおそれがあります。

### 【インナーテント天井部のベンチレーション】

ファスナーを開き,フラップを丸めるようにしてポケットに収納します。（固定のためのひもなどはついていません。）